

評価委員会総合評価

研究課題名：全球大気データ同化の高度化に関する研究

評価委員

委員長：田中正之

委員：岩崎俊樹、木村富士男、佐藤 薫、藤吉康志、渡邊朝生

評価年月日：平成 25 年 10 月 21 日

1. 総合評価

- (1) 継続の可否 継続 新規課題に移行 中止
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、気象予報業務のための基礎的、基盤的研究として重要な全球大気データ同化システムの改善を目的としている。

計画は、データ同化手法の高度化と衛星データ同化技術の高度化という2つの副課題によって構成されており、これまでのところ、観測システムシミュレーション実験(OSSE)や観測誤差共分散行列・予報誤差共分散行列を最適化する同化手法の有効性を示し、最新のデータ同化技術を現業数値予報システムへの導入に目途をつけるなどの成果が得られており、中間評価時の目標を十分に達成している。

本研究のこれまでの取り組みは、本格的な高度化の研究のための準備段階に相当しており、今後は目的に直結する具体的な成果の獲得が期待される。

一方、顕著現象の予測精度向上など社会的な要請の高い研究開発への対応も急務となってきていることから、今後解決すべき問題点と現時点での到達度を明確に整理・把握し、限られた研究資源を集中させて以降の研究開発につなげることが重要である。

本課題については、顕著現象の予測精度向上に向けた取り組みを明確化するとともに、衛星観測データの同化技術の高度化や同化に有利な新しいセンサーや観測方法などの検討に取り組むものとして、新規課題に移行のうえ継続すべきである。